

## 目次

0. はじめに	3
1. 目的とその適用範囲	4
2. 引用規格	4
3. 用語および記号の定義	5
4. 界面強度試験片	5
4.1 まえがき	5
4.2 材料	5
4.3 接着剤	6
4.4 試験片の作製	6
4.5 試験片の接着に用いる治具	6
4.6 試験片の接着方法	6
4.7 試験片の浸漬	8
5. コーティング膜の引張界面強度評価試験	8
5.1 まえがき	8
5.2 引張試験装置	9
5.3 引張試験用治具	9
5.4 引張試験片の取付方法	9
5.5 引張試験手順	9
5.6 コーティング膜の界面強度の計算方法	10
5.7 破断面の状態判定	10
6. 試験結果の報告書に記載すべき事項	10
参考文献	11
解説	12
1. 生体材料	12
1.1 本基準の提案に至る経緯	12
1.2 対応規格との関係	13
2. 類似規格と比較した本基準の位置づけ	25
3. 用語および記号の定義	26
4. 界面強度試験片	27
4.1 試験片の形状について	27
4.2 接着剤について	28
4.3 試験片の作製方法について	29
4.4 試験片の接着治具の作製について	29
4.5 試験片の接着における留意点	31

4.6 浸漬試験を行う際の留意点	34
5. 引張界面強度試験	36
5.1 引張試験装置について	36
5.2 引張試験治具について	36
5.3 引張界面強度試験片の取り付け時の留意点	37
5.4 試験片の取付方法	37
5.5 試験方法について	37
5.6 コーティング膜の界面強度の計算方法	37
5.7 破断面の状態判定における留意点	37
5.8 破断面の状態判定	38
6. 試験結果の報告について	39
6.1 基準名	39
6.2 使用した材料の化学成分	39
6.3 溶射方法	39
6.4 接着剤	44
6.5 試験片の形状（素材直径，長さ，接着層厚さ）	48
6.6 試験片の数	49
6.7 引張試験による界面強度の評価	49
6.8 界面強度の最大値，最小値，平均値および標準偏差	59
6.9 破面上のコーティング膜，基材，接着剤の面積率について	60
6.10 接着剤の皮膜および基材への浸透状況	60
7. ラウンドロビン試験結果の整理	64
7.1 界面強度試験結果	64
7.2 破面率分析結果	65
参考文献	66